

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和6年11月11日(2024.11.11)

【公開番号】特開2024-99730(P2024-99730A)

【公開日】令和6年7月25日(2024.7.25)

【年通号数】公開公報(特許)2024-138

【出願番号】特願2024-71398(P2024-71398)

【国際特許分類】

A 6 1 F 2/16 (2006.01)

10

【F I】

A 6 1 F 2/16

【手続補正書】

【提出日】令和6年10月31日(2024.10.31)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項1】

調節式眼内レンズシステムであって、

調節構造を備え、調節構造は、

第1の光学構成要素と、

第2の光学構成要素であって、前記第1の光学構成要素および前記第2の光学構成要素の両方を通過する光軸を画定するように前記第1の光学構成要素の後部にある第2の光学構成要素と、

前記第1の光学構成要素と前記第2の光学構成要素との間の内側流体チャンバと、

前記内側流体チャンバに流体工学的に連結された外側流体リザーバであって、前記外側流体リザーバは、前記光軸に対して前記内側流体チャンバから半径方向外側に位置決めされ、かつ、外壁を備え、前記外壁は、流体が前記外側流体リザーバと前記内側流体チャンバとの間で流れて、調節を提供するために前記第1の光学構成要素および前記第2の光学構成要素のうちの一方または両方を移動させるように患者の生来の眼胞と接続し、接触するように構成される、外側流体リザーバと

30

を備え、前記調節構造は、前記調節構造が動作可能で前記患者の前記生来の眼胞内にあるとき、固定レンズが前記第1の光学構成要素の前部にあるように、前記固定レンズを着脱自在に保持するように構成されている、調節式眼内レンズシステム。

【請求項2】

前記調節構造は、前記流体が前記外側流体リザーバと前記内側流体チャンバとの間を流れときに、前記第1の光学構成要素が前記第2の光学構成要素よりも移動するように構成されている、請求項1に記載の調節式眼内レンズシステム。

40

【請求項3】

前記調節構造は、前記流体が前記外側流体リザーバと前記内側流体チャンバとの間を流れときに、前記第2の光学構成要素が前記第1の光学構成要素よりも移動するように構成されている、請求項1に記載の調節式眼内レンズシステム。

【請求項4】

前記調節構造は、前記固定レンズを受け取るように構成された固定レンズレシーバを備える、請求項1に記載の調節式眼内レンズシステム。

【請求項5】

50

前記固定レンズレシーバは、前記調節構造の内壁におけるくぼみを含む、請求項4に記載の調節式眼内レンズシステム。

【請求項6】

前記固定レンズレシーバは、前記調節構造の内壁における環状のくぼみを含む、請求項4に記載の調節式眼内レンズシステム。

【請求項7】

前記第2の光学構成要素は、前記外側流体リザーバの後部に位置決めされている、請求項1に記載の調節式眼内レンズシステム。

【請求項8】

前記外側流体リザーバの外周に沿って円周方向に分散された1つ以上の外側フロースルート徴をさらに備える、請求項1に記載の調節式眼内レンズシステム。 10

【請求項9】

前記1つ以上の外側フロースルート徴は、前記調節構造が前記生来の眼胞内に配置されたときに前記生来の眼胞に対して回転することを少なくとも部分的に防止するように構成されている、請求項8に記載の調節式眼内レンズシステム。

【請求項10】

前記患者の眼からの力または力の変化に応答して、前記調節構造は、偏倚されていない状態と偏倚された状態との間で遷移するように構成され、前記第1の光学構成要素および/または前記第2の光学構成要素は、前記偏倚されていない状態および/または前記偏倚された状態において光学能を提供しないかまたは実質的に提供しないように構成されている膜を含む、請求項1に記載の調節式眼内レンズシステム。 20

【請求項11】

前記偏倚されていない状態において、前記第1の光学構成要素および前記第2の光学構成要素は、前記光軸に沿って測定される第1の距離によって分離され、

前記偏倚された状態において、前記第1の光学構成要素および前記第2の光学構成要素は、前記光軸に沿って測定される前記第1の距離とは異なる第2の距離によって分離されている、請求項10に記載の調節式眼内レンズシステム。

【請求項12】

前記偏倚されていない状態において、前記第1の光学構成要素および前記第2の光学構成要素は、前記内側流体チャンバの第1の形状および/または第1の体積を画定し、 30

前記偏倚された状態において、前記第1の光学構成要素および前記第2の光学構成要素は、前記第1の形状および/または前記第1の体積のそれと異なる前記内側流体チャンバの第2の形状および/または第2の体積を画定する、請求項10に記載の調節式眼内レンズシステム。

【請求項13】

前記偏倚されていない状態において、前記調節構造は、第1の光学能を提供するように構成され、

前記偏倚された状態において、前記調節構造は、前記第1の光学能とは異なる第2の光学能を提供するように構成されている、請求項10に記載の調節式眼内レンズシステム。

【請求項14】

前記調節構造は、正方形の環状領域をさらに含み、前記正方形の環状領域は、細胞移動が誘導する前記調節構造の手術後の不透明化を少なくとも部分的に防止するように構成されている、請求項10に記載の調節式眼内レンズシステム。 40

【請求項15】

前記固定レンズをさらに備える、請求項1に記載の調節式眼内レンズシステム。